

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
1	仁尾	まちづくり推進隊に代わる組織への補助金について まちづくり推進隊の交付金を削減し、多様な団体の補助金に回すという説明だった。具体的にはどういう団体を補助して、どういう活動を期待すると考えているのか。	当該事業は、区域内で活動する市民活動団体が、市民生活の向上や地域の振興に資する活動に対して補助を行っており、ひいてはこれらの活動によって地域が持続的に継続していただけることを期待しています。
2	仁尾	市河川の清掃について 三豊市が管理する河川の清掃を、地区衛生がしている。4～5年前から補助がなくなった。補助がないなら、年1回は市で草刈りや清掃してもらいたい。議会から市長へ伝えてほしい。	市民の保健増進と環境衛生の向上を図り、健康で住みよいまちづくりを促進するために三豊市地区衛生組織があり、その事業活動の中で清掃活動に対して補助を行っています。各支部で補助の内容が違っているので、内容については各支部にお問い合わせしてほしい。 また、市で毎年の草刈りを実施することは難しく、河道に支障となる樹木の繁茂や土砂の堆積等については、担当課が現地を確認し、樹木伐採や浚渫等を実施しています。
3	仁尾	地域で活動する組織間の連携への協力について 水路の清掃は自治会が行っている。日程調整やあげた泥の収集など、自治会と水利組合の連携ができていない。まちづくりの補助金は、地域にある組織の関係を繋ぐための活動に使ってもらいたい。そのことを議会と市で協力して解決してほしい。	個別の自治会活動、水利組合との連携等については相互で調整いただくしかありませんが、市民生活の向上や地域の振興を目的とした「地域コミュニティ活動支援事業補助金」も創設しているので、当該補助金を活用しようと思われる場合は、ご相談いただきたいと思います。
4	仁尾	給食費無償化について 政府から給食費の無償化が打ち出された。仮に国の補助金が市の定めた給食費より少なかった場合は、不足金額を保護者の負担とせず、完全に無償化となるよう議会から市長・教育長へ配慮をお願いしてほしい。(要望)	小学校の学校給食費は、国の交付金を活用し、本年4月から無償化されています。また、食材費が国の交付金を上回る場合は、市がその差額を負担し、保護者に負担を求めることはありません。 中学校給食費の無償化については、今後、慎重に検討していくこととしています。なお、食材費が国の交付金を上回る場合の対応については、小学校と同様に、市が差額を負担し、保護者に負担を求めない考えです。
5	仁尾	議員の行政視察研修について 市の財政が危機的状況となっているのに、委員会全員が県外へ視察に行っている。各委員会の正副委員長と委員1～2名、計3～4名にして情報共有すれば経費削減になる。(意見)	議員それぞれが勉強し、理解を深め、多様な視点を持って活動することで、議会活動の効果をさらに上げることができると考えています。
6	仁尾	広報担当委員会の研修先について 広報を担当する委員会の研修は、県内のマスコミ関係機関で研修し広報誌の作成を学んではどうか。(意見)	いただいた提言は貴重なご意見として承り、今年度の行政視察研修も議会活動の効果をさらに上げることができるよう、取り組んでまいります。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
7	仁尾	三豊市風致地区内における建築等の規制に関する条例について 四国山は除外してほしい。建ぺい率が厳しく、思うように建築できないのに、税制面で優遇が無い。個人を苦しめている。 (意見)	風致地区は、都市における良好な自然的景観を維持するために指定している。仁尾町においては昭和11年に、樹林に富んだ山地である3地区(妙見山風致地区、四国山風致地区、蔦島風致地区)を風致地区として指定し、現在に至っているので、ご理解いただきたい。
8	仁尾	三豊市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について 現職議員の経験年数はそれぞれ異なるのに、議員報酬が同額なのはなぜか。また、議員報酬額を上げた理由を説明してほしい。	議員報酬は、議員としての職務に対する対価であり、年数に応じて処遇が上がる常勤職員の給料とは性質が異なるため、経験年数による差は設けず同額としております。 議員報酬額の改定に当たっては、市内の公共的団体等の代表者や市民の方を委員とする「特別職報酬等審議会」を令和7年度に開催し、県内他自治体の状況等を総合的にご検討いただいた結果、増額すべきとの答申をいただき、これを踏まえて条例改正により改定を行いました。
9	仁尾	三豊市観光交流局について 交流局の職員は何人いるのか。運営している組織の正式名称、活動内容、三豊市からの補助金が収入の全てなのか、他にも収入があるのか。	「一般社団法人三豊市観光交流局」の名称で、観光客の誘致や地域の活性化に取り組む法人団体です。常勤職員7名の組織で、収入は市からの委託事業が約6割を占めますが、残りは物販などの自主事業によって収入を得ています。
10	仁尾	長期休業中の放課後児童クラブでの給食の提供について 放課後児童クラブを利用するひとり親家庭の児童に、夏休み中は給食を提供してほしい。市給食センターで調理できと思う。次年度の当初予算に計上するよう要望する。	放課後児童クラブの長期休業中における昼食提供については、ひとり親家庭をはじめ、子育て世帯の負担軽減の観点から、ニーズが高いものと認識しています。 本市では、令和8年度から全ての放課後児童クラブを民間委託により運営しており、現在は委託事業者が地域の実情に応じて弁当などの昼食提供に取り組んでいます。 ご提案の学校給食センターを活用した昼食提供については、施設運営や配送方法など整理すべき課題がありますが、まずは現在の委託事業者による取組状況を踏まえながら、より良い昼食提供のあり方について、引き続き調査・研究を進めます。
11	仁尾	議会報告会について 議員は住民の意見を市に伝えるだけでなく、その課題が発生する原因を見つけて三豊市を良くする活動をしてほしい。	いただいた提言は貴重なご意見として承り、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
12	仁尾	自治会の道に街灯をつけてほしい	防犯灯については、自治会を通して申請を受け付けております。
13	仁尾	みとよ市民病院の診察時間について 平日は仕事で行けない。せめて土曜日は診察してほしい。	現在、当院では常勤医師が不足しているため、他院から非常勤医師の応援を受けながら診療を行っております。このため、現時点では土曜日の診察を実施することが困難な状況となっております。いただいたご意見につきましては院内で共有し、今後の病院運営の参考とさせていただきます。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
14	仁尾	一部の方の質疑要望が長すぎる。 意見している人の発言している事の意見がわからない。 一人で長時間だらだら質問する人がいて発言時間が削られる。 一回の発言に明確な制限時間を設けて、足らなければ再度司会者から指名された時に発言してもらうよう運用するべき。	議会としても議会報告会の現状について調査研究を行っておりますので、いただいた提言は貴重なご意見として承り、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
15	三野	防災行政無線の放送内容について 行事等地域の連絡事項を放送しなくなった。せっかく設備があるのに残念だ。住民へ周知するのに大変役立っていた。	防災行政無線は電波法の免許状に基づき運用しており目的外使用は禁止されています。市で放送項目を決めて公共性のある行政放送のみをスピーカーの動作確認等のために放送していますので、ご理解ください。
16	三野	カーブミラーの腐食について 支柱が腐食しているものがある。三野町は道が狭いところが多いので、カーブミラーに頼るところが多い。新しいものに交換する基準はあるか。	カーブミラーについては、腐食が見られることのみを理由に一律に交換するのではなく、支柱の腐食状況について担当課が現地調査を行い、強度の低下を含めた劣化の状況を総合的に確認した上で、安全性に支障があると判断した場合には速やかに交換を行っています。
17	三野	道路の破損通報等へのアプリの導入について 高松市で導入しているアプリが便利だと聞いたことがある。位置情報を市民から市役所に直接送れて効率的だ。導入しないのか。	本市では、LINEアプリである国土交通省の「道路緊急ダイヤル」を利用して舗装の穴、カーブミラーの損傷等、道路の異常について通報すれば、本市にメールで届くシステムとなっている。このアプリは位置情報や写真のデータ送付の機能を兼ね備えたものともなっているので、こちらを利用してほしい。
18	三野	野焼きの代替手段への補助について 農業をしていると野焼きが必要で、事前に届出をしていないと、罰則がある。それに対応するため、粉碎機の購入を考えている。市に補助等はあるか。	野焼きに関する補助はないが、認定農業者等の担い手が行う経営発展のための取り組みに対しては、一定の要件はあるが支援を行っています。要望があったことは担当課に伝えていきます。
19	三野	三豊市の財政運営の切り替えについて 合併特例債が終わり、今後は財源確保が一層困難になり、三豊市には大変厳しい未来が待っていると思う。議会の中で知恵を出し合い、市民に迷惑をかけないように頑張してほしい。	今後は、市の予算規模を縮小させつつ、行政サービスが著しく低下しないよう、市民と合意形成をしながら持続可能な新しい三豊市の財政状態を見出したい、という説明が市長からありました。これまでは説明を受ける議会だったが、政策改善を提案する議会を目指し、市民の意見を聴きながら全力で取り組みます。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
20	三野	本日の報告会は市の施策を説明し、質疑応答するとの趣旨と理解するが、「たたき台」の説明に係る資料のパンフレットであり、十分な資料となっていないと感じる。	いただいた提言は貴重なご意見として承り、説明資料の充実も含め、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
21	財田	ハラスメント行為の議会の対応について 名前が挙がっていた議員の他に、ハラスメント行為は無かったか。職員全員に調査するなど、市役所を働きやすい職場にしないと市民に不利益が生じる。議会の対応について問う。	議会としても、きわめて重大な問題と認識してる。市議会のハラスメント防止条例により、第三者委員会からハラスメント行為であると報告を受けた後、昨年12月に政治倫理委員会を設置し、議会として辞職勧告という対応をした。改選後についても引き続き研修を実施し、議員全員でハラスメント根絶に継続して取り組んでいる。
22	財田	まちづくり推進隊の解散に伴うサービスの低下について 配布物が減り、警察からのお知らせが配布できなくなった。	これまで広報紙とあわせて各種団体からのお知らせチラシを配布しておりましたが、今年度より自治会での仕分けのご負担を鑑み、配布物については一定の規定を設けております。 まちづくり推進隊への交付金事業は廃止となりましたが、新たに地域コミュニティ活動を支援する補助金制度を開始しております。活用についてはご相談ください。
23	財田	道路の危険箇所について 3カ月に1回の頻度で重大事故がおきる危険な箇所がある。事故防止の対策をとってほしい。	当該交差点については、車両の通行状況により注意が必要な箇所であると認識しており、現在、車両接近を知らせるセンサーや注意喚起表示、一時停止標示の強調など、必要な安全対策を実施しています。 また、交差点の見通しを確保するため適切に樹木伐採をおこない、交通事故防止にも努めています。 なお、車両接近を知らせるセンサーの反応については、通行車両の速度等により反応に差が生じる場合もあるようなので、道路を利用する際には、一時停止の徹底や徐行による交差点侵入など、十分な確認による安全な通行の確保をお願いします。
24	財田	重大な交通事故が発生した危険箇所について 感知信号の反応が遅い。	
25	財田	市道の草刈りについて 農家の高齢化により、あぜの草刈りで精一杯。農家でも十分草刈りができてない人もいる。 市としては、これからのことをどのように考えているのか。	市道の草刈りについては、高齢化等により対応が難しくなっている状況も認識しておりますが、市道除草事業補助金を活用していただきながら、自治会等の地域において対応をお願いしたい。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
26	財田	不要な看板の撤去について 不要になった看板が設置されたままになっていた。定期的に巡回し、適切な時期に設置・撤去してほしい。	今回の指摘は西讃広域農道の冬期に設置していた「凍結注意」看板と思われます。ご指摘のとおり、交通に支障とならない場所に設置するとともに、必要のない期間は速やかに撤去するよう対応いたします。
27	財田	市役所が責任を持つとは何か 市役所の職員はもっと責任を持ってほしい。時間がたてばいいという雰囲気を感じる。看板をうっかり外し忘れるなど、民間ではありえない。	
28	財田	三豊市の交通、観光政策について 財田町のデマンドタクシーを活用して観光PRができないか。 父母ヶ浜や市役所、宿泊施設をつなぐ路線を新設したり、夜間の運行を検討してはどうか。	三豊市の観光産業を主要な産業に発展させるべく、各種政策を講じています。南部にはたからだの里、北部には父母ヶ浜という年間数十万人が訪れる施設があります。 財田町乗合タクシーは過疎地域での高齢者等の移動支援として財田町住民の方を対象とした交通サービスとなっていますが、市ではコミュニティバスを12路線運行しており、各駅や市役所、観光地、宿泊施設など、毎年バス停設置箇所の見直しをしています。夜間に関しては各地域のタクシー会社をご利用いただけたらと思います。
29	財田	都市再生整備計画の策定について 市役所周辺、三豊市全域で策定するのか。	都市再生整備計画は、都市の再生に必要な公共公益施設の整備を重点的に行う区域について作成するもので、詫間庁舎周辺整備について策定しました。市役所周辺整備については、「三豊市総合計画」や「三豊市立地適正化計画」の中で位置づけており、都市再生整備計画については作成していません。また、三豊市全域での策定も予定していません。
30	財田	みとよ市民病院の経営について 「自治体として責任をもって運営をしていく」と書かれているが、具体的な目標が書かれていない。黒字化にするとか、できなければどう責任をとるのかとか、書いてほしい。	現在の医療制度のもと、全国の自治体病院においては経営改善に向けた取組が進められております。しかしながら、人件費の上昇や物価高騰といった構造的要因により、各病院の努力を上回る速度で経営環境は厳しさを増しており、全国の自治体病院の約86%が赤字経営となっているのが現状です。 みとよ市民病院は、自治体病院としての使命のもと、地域に不足する回復期の入院医療や、精神科、小児科、耳鼻咽喉科などの不採算医療を担っております。 また、感染症流行時には検査体制を支え、災害時には地域の拠点病院として機能するなど、地域にとって必要不可欠な存在です。 全国の自治体病院と同様に厳しい経営状況ではございますが、今後も市として責任をもって運営してまいります。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
31	財田	市議会議員の定数を2名減らしたのはなぜか 市民は多様化している。多様な意見を取り入れるには、逆に議員定数を増やした方がいいのではないか。経費削減というが、予算が増えない工夫はできる。市独自のルールを定められるはずだ。	市の人口が6万人を切り、議員数もそれに合わせて20人にした。貴重な考え方として、議会の中で共有したい。
32	財田	少子化対策について 結婚した際や、出産した際に祝い金を給付してはどうか。	少子化や高齢化に伴う人口減少は、日本全体、そして本市にとってももの大きな課題であると認識しています。本市では、結婚祝い金や出産祝い金などの一時的な現金支給ではなく、安心して三豊市で暮らし、安心して子どもを産み育てられるまちを目指し、各施策を行ってまいります。
33	財田	みとよ未来創造館会議室のオンライン予約について 会議室やワークスペースを予約できるようにできないか。	香川県の公共施設予約システムの導入を検討しています。 令和8年度中には、施設の予約状況を確認できる「見える化」を実施する予定です。
34	財田	JR高瀬駅のバリアフリー化について	高瀬駅のバリアフリー化についてJR四国に確認したところ、バリアフリー整備については、法律に基づき1日乗降人員3千人以上の駅を優先に、国や地元自治体の協力を得ながら進めているということでした。 本市としては、JR四国に対しバリアフリー化について引き続き要望していくとともに、どのような協力ができるのか検討していきます。
35	財田	議会報告会について 市民の声を聴こうとする姿勢を感じ、期待している。今後の対策が実現するよう注目している。(意見)	市民の皆さまのご期待に応えられるように、議会報告会を通じて得られた貴重なご意見を市政に対して反映できるよう取り組んでまいります。
36	財田	職員も参加して市政報告会も同時に実施すればいいと思う。	各種会合や会議等の機会をとらえて、随時報告を行い、関係者や市民の皆様の意見を聞かせていただくよう努めてまいります。
37	財田	若い人の意見を聞く場がもう少しあってもよいと思う。 報告会は平日の夜がほとんどである。 少子化対策、結婚問題の当事者に聞くのが一番だと思う。	議会としても、若者や女性の参加者が少ないことは憂慮しており、曜日や時間帯を変えたり、オンライン報告会を実施したり、対策は講じているところであります。議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
38	財田	参加している議員みなさんの声を聞きたい。 得意分野など伺いたい。	現在の議会報告会は議会としての報告の場であるため、議員個人の意見等をお伝えするのは難しいことをご理解いただきたい。いただいた提言は貴重なご意見として承り、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
39	財田	町民の方が利用している印刷機が利用できなくなったとのこと。 資料作りの際に大変役立っていたし、利用者も多かったのも不便になる。 一体どこで印刷すればいいのか。 本庁に行くようにとのことだが、予約が必要だし、時間のロスも大きいので困っている。 支所の職員は町民に対してもっと丁寧に対応してほしい。 木が倒れて通行できなくなった時、連絡したら自分でなんとかするように言われた。 高齢者にとってとてもつらい対応でした。(私の土地の木ではありません。今からも出てくる問題だと思う。)	印刷については、所属されている団体を担当する市役所内の担当課を通じて、予約のうえ、お使いいただくことになっております。 但し、市役所設置の印刷機は公務利用を目的としていることから、印刷できない場合もございます。
40	山本	防災一般費について。設備物資等は、どこに現在保管していて、どういうタイミングで、どういう命令系統で、貸出が判断されるのか。	備蓄品や資機材は各町ごとに防災倉庫や指定避難所などで分散備蓄しています。備蓄品の活用は災害発生時に設置する災害対策本部での決定により実施します。支給する備蓄品は食料や水、毛布等が主であり、投光器や自家発電機などは指定避難所の運営での使用を想定した資機材です(貸出を想定しているものではありません)。
41	山本	屯所、各支所に各備品があるという認識でいいか。災害時に貸出を希望するとき、地区の防災委員とか公民館とかどこから要請するのか。市の方から呼びかけがあるのか。いざ起こった時の指示系統を知りたい。	一部上記と同様です。 避難所運営に必要な備品であれば、避難所運営組織等から災害対策本部へ要請することになります。
42	山本	小中学校の体育館の空調、遮熱はどうなっているのか。	市内の中学校体育館には、令和7年度に空調設備を設置しました。 小学校では、豊中小学校は校舎建設時に空調設備を導入しており、令和8年度には山本小学校と財田小学校の体育館にも設置する予定です。これら3校については、遮熱対策が確保されています。 その他の小学校への空調設備の導入については、今後検討していきます。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
43	山本	和光中のPTAの方から「和光中の人数が少なくなっているのになぜ統合しないのか。三豊中にそのまま入ってもいいのに。」という声がある。そういう考えはないのか。	平成23年に策定した「三豊市立学校再編整備基本方針」では、中学校は統合しない方針とし、小学校については学校再編整備を進め、詫間町、山本町、財田町、豊中町で再編を実施しました。基本方針の策定から10年以上が経過し、児童生徒数の減少や子どもたちを取り巻く環境、社会情勢の変化などを踏まえ、令和3年度に「三豊市立学校適正規模・適正配置検討委員会」を設置しました。検討を経て、令和6年4月に基本方針改訂版を策定し、中学校の統合については、第2期(令和16年度～令和25年度)に学校再編整備を進めることとしています。
44	山本	人件費が大きくなっていると聞く。議会としてどう考えているか。 公共施設の統合や、部・課の統合で総合的に考えてもらいたい。(意見)	人件費については議会でも指摘しております。どう執行していくのか市民の皆様への説明を求めてまいります。
45	山本	三豊市で農業について、何か明るい題材とかビジョンとか農家に提示できるようなものはあるか。現在、薬草はどうなっているのか。	薬用作物については、農政部農林水産課が窓口ですのでお気軽にお問合せください。薬用作物の栽培者・栽培面積は年々増加しており、安定した収入確保に繋がっているようです。有機農業については、国の動きとあわせ、三豊市でも持続可能な農業として、選択肢の一つとなるよう推進しています。また、担い手支援として、国・県などの各種補助事業について情報提供を行い、活用を促進しているところです。
46	山本	通学路の倒木について調べているか。	子どもたちが安全に登校できるよう、地区ごとにPTA、子ども会、保護者により登校班を編成し、通学路を定めています。その際には、交通安全や危険箇所にも注意するとともに、登校練習なども行っています。学校では通学路全体を常時調査しているものではないため、保護者や見守り隊、地域の方から情報提供をいただく場合があります。危険箇所を発見した際には、学校または道路管理者等へご連絡をお願いします。また、倒木の恐れや通行に支障がある場合は、原則としてその土地の所有者において対応いただくこととなりますが、市が管理する道路上の倒木については、道路担当課へ個別にご連絡をお願いします。
47	山本	パートナーシップ制度の利用者数はどれくらいか。 パートナーシップ制度は三豊市にプラスになっているのか。 教えて下さい	パートナーシップ宣誓制度の利用者数は現在3組です。性的少数者に対する偏見や差別をなくすため、広報紙や講演会などによる啓発活動を行っています。市民一人ひとりの人権が尊重され、個性を生かし多様性を認め合い、誰もが住みよいまちづくりの実現を目指しています。
48	山本	長期計画の中で単年度計画があると思うが、長期的な重点目標がみえない	本市では、「三豊市第2次総合計画」(10年間)をまちづくりの最上位計画として、各分野の施策に取り組んでいます。また、毎年、その下位計画となる「実施計画」(3年間)を更新し、短期計画において具体的な目標を設定し取り組みを進めています。施策の効果など説明責任を果たしてまいりたいと思います。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
49	豊中	三豊市の「三豊市独自の脱炭素」は気候変動と生物多様性の損失を同時解決するものであり、心から期待している。今年の気候変動解決のための対策は。	美しい風景や豊かな自然環境を次世代に継承するため、気候変動対策と生物多様性の確保を重視した施策を進めています。具体的には、森林の再生に取り組むとともに、若者世代を中心に環境意識を高めることを目的とした植林プロジェクトを推進しています。 また、瀬戸内海に広がる藻場や干潟などの豊かな海洋資源を保全するため、産官学金が連携する「瀬戸内渚フォーラム」に参画し、海洋生態系の豊かさを守りつつ、CO2吸収源となるブルーカーボンの創出にも取り組んでいます。こうした取り組みを通じて、温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、本市の美しい風景と自然環境を守り、着実に未来へと継承していきます。
50	豊中	オーガニックビレッジ宣言にも期待している。給食がオーガニックになったら良いと思うが、三豊市のビジョンは。	有機農業への関心や取り組み意欲は着実に広がりつつあると認識しており、令和7年度の取り組みとしては、市内こども園と市内生産者が連携し、有機農産物地産地消イベントを実施しています。 給食への活用に関しては、収量、価格面などの課題もあり、段階的に検討を進めてまいります。
51	豊中	気候変動問題の重大性から考えると、地球温暖化対策補助金の上限は取り払うのが良いのでは。屋根上太陽光や蓄電池など、最大限設置するべきではないか。	気候変動問題の深刻化や、屋根上太陽光・蓄電池等の設備導入の重要性については、深く認識しています。 現在、本市では「スマートハウス等普及促進事業補助金」を設け、太陽光発電、蓄電池、V2H、次世代自動車、ZEHといった設備等の導入に対し補助を行っています。これは、限られた財源の中でも、より多くの市民に導入の機会を提供し、その普及と環境意識の啓発に繋げることを目的として取り組んでいます。 提案いただいた補助上限の撤廃や最大限の設置という考え方は、脱炭素社会の実現に向けた非常に重要な視点であると受け止めており、今後は、国の動向や技術の進展、そして本市の財政状況等を総合的に勘案しながら、より効果的かつ持続可能な支援策のあり方を検討していきます。
52	豊中	生物多様性を守るために三豊市ではどのような仕組みがあるのか、教えていただきたいです。	市では、豊かな自然環境と生物多様性を次世代へつなぐため、行政・地域住民・民間企業が一体となった先進的な仕組みづくりを進めています。 父母ヶ浜の清掃など、市民による地道な保全活動をベースに、国の認定制度である自然共生サイトの登録や民間企業との連携により、地域経済を活性化させながら生物多様性を守る「ネイチャーポジティブ」のモデルケースを模索しています。
53	豊中	流域治水は大変大切な考え方だと思います。具体的にお聞きたいです。	流域治水は、河川整備だけでなく、流域全体で雨水を「ためる」「ながす」「そなえる」取組を関係機関が連携して進める考え方です。本市においても、県が進めるプロジェクトの枠組みの中で、関係機関と連携しながら、流域全体での治水対策を進めているところです。今後も、浸水被害の軽減に向け、具体的な対策の検討・実施に取り組んでいきます。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
54	豊中	桑山小学校は避難所となっているか。閉校後の跡地の行政利用や売却処分への進捗状況は。	閉校した学校施設は、指定緊急避難場所及び指定避難所の指定を継続しています。8月にニーズ調査を実施予定ですが、小学校内の備品については、市内小中学校の教育活動に活用できるよう6月上旬～8月末まで配分を行うこととしています。
55	豊中	江尻側上流コンクリート護岸により、蛸が激減した。今後は自然と共生する方法での護岸(NbS)が望ましいのではないかと。	江尻川上流の護岸工事については、限られた河川断面の中で洪水時の流下能力を確保する必要があり、また、護岸の安定性や維持管理、防災機能を優先すべき箇所もあることから、現時点では、自然機能を活用する(NbS)工法の採用は難しいと考えています。
56	豊中	行政には日頃お世話になっているが、もっと市民目線を大事にしてほしい。市民と行政との信頼関係があるからこそ住みよいまちができる。 具体的には新豊中小。先生を中心に、保護者、地域、行政4者がしっかりとお互いの立場を尊重しながら一緒に考えていく、そういう姿勢をぜひ大事にしてほしい。	豊中小学校については、令和2年度末から統合に至るまで、豊中地区学校再編整備地域協議会及び統合準備会(5つの部会)において、保護者、地域、学校、行政が協議を重ねてきました。また、開校後も学校運営協議会(保護者や地域住民などが参加する制度)を設置し、地域とともに学校運営を話し合う中で、「地域とともにある学校」の実現を目指しています。これにより、地域の特色を生かした教育活動の充実や、子どもたちの地域への愛着・社会性の育成に取り組んでいます。さらに、学校と地域が連携・協力することで、防災や安全面での連携強化にもつながるものと考えています。
57	豊中	実際の避難所の使い方。ペットを連れて行けるのか、鍵をどうやって開けるのか、など。大事なことは繰り返しアナウンスしてほしい。 防災国会というイベントで勉強したのだが、ファーストミッションボックスというものがあり、誰でも避難所開設できるテキストがある。	事前に知っていただきたい情報については、今年度改訂している新しい総合防災マップへの掲載、広報紙、市ホームページ等で市民への周知・啓発に努めます。今年度中に、避難所開設に必要な事項を掲載した簡易的な市内共通の避難所運営マニュアルを策定する予定で準備しています。ファーストミッションボックスの活用も含めて避難所運営体制の充実に努めます。
58	豊中	かた苦しくない発言しやすい雰囲気を作って意見を言い合うのが望ましい 前半の説明は、もう少し簡単でいいのでは	議会としても議会報告会の現状について調査研究を行っておりますので、いただいた提言は貴重なご意見として承り、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
59	詫間	若い新人議員が増えたことは良いことだとは考えるが、今までの知見・経験不足から議会運営に対して不安や疑問を感じる。また市民の監査役としての役割を果たせるのか心配である。	選挙で市民の皆様によって選ばれて議員になっていることから、一定の信頼をいただきたいと思っている。その上で、議会基本条例の中では、議員の研鑽に関わる部分、それから問題があった時の自浄作用に関わる部分等を規定して議員の資質向上に努めている。議員の資質向上のため自己研鑽を行っているため、信頼をいただきたいと思っている。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
60	説明	合併特例債・財政調整基金などを考慮すると三豊市の財政は大丈夫なのかと心配している。	合併特例債については令和7年度に終了しました。また、財政調整基金の現在の残高は40億円を確保しておりますが、今後も、議会として予算のチェック、審議を行い、将来の子供たちに負担を残さないよう、市議会も市政と一緒に財政の健全化に努めてまいります。
61	説明	市道の修繕、改修の要望を地元から聞いて三豊市に要望を出してもご回答をもらえない、もらえていない要望がある。いつどのように解決していくのでしょうか？	市道の修繕、改修要望については、現地確認を行った上で、道路の破損状況や安全性、緊急性などを総合的に判断し、優先順位をつけて対応しています。要望時点での対応方針については自治会長等にお伝えしており、その後、修繕等の予算が確保できた段階で、地元関係者にお伝えすることとしています。
65	説明	①議会にて地域コミュニティ支援事業の審議をされた際、市からは総務省の集落支援員制度利用の説明がどのようにありましたか。 ②現在の集落支援員の趣旨にそぐわない業務の引き継ぎについて、審議内容をご説明下さい。	所管する総務常任委員会で説明は受けてまいりました。業務内容は①集落点検②集落のあり方について話し合い③地域活性化のための活動と聞いております。まちづくり推進隊に対する交付金がなくなり、まちづくり推進隊も解散したところが多く、その中で今までやってきた事業の継続等について危惧もありました。その部分を集落支援員制度で補うことによって、コミュニティの再生を行っていかうという趣旨だと議会は考えております。
		自治会は自分たちの足できちんと立ち、自治会運営をやっていかなければならないが、自治会の役員は疲弊している。自治会運営が難しい状況で、それを支援する組織として、集落支援員制度が始まったことは素晴らしい政策だと思う。総務省の記述にはない三豊市の3番目の項目がメイン業務になっているのは違うと思う。 自治会長の業務も、まつりの交通整理への動員など自治会連合会も本来の役割を果たしていない。自治会長の一人一人が孤立している現状。 広報広聴常任委員会も設置されたようなので、ぜひ、情報の共有や悩みを吸い上げてくれる仕組みを議会で作ろうという動きだと思うので、市にも受け継いでいただきたい。	自治会は、地域住民が自主的に運営する最も身近な自治組織であり、地域のつながりを深め、誰もが安全・安心に暮らせる地域社会の形成に重要な役割を担っているものと認識しております。まつりの交通整理など、自治会長の負担となっている業務についてのご意見につきましては、自治会連合会にも共有してまいります。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
66	詫間	家庭用集落排水について。市が進めている浄化槽方式は、使用者の維持管理負担が大きい。負担の少ない下水道方式を求める。	集落排水の整備方法については、地域の人口密度、地形、および整備・維持管理にかかる総コストを総合的に勘案し、効率的かつ経済的な手法を選定しております。また、下水道方式は、利用者の日常的な保守点検の手間がないというメリットがありますが、能登半島地震などの大規模災害において、下水道は地中の管が破断すると、地域全体のトイレが長期間使えなくなりました。合併処理浄化槽は一軒ごとに独立しているため、電気が復旧すれば、その日のうちにトイレが使えるようになり、災害時の対応力が極めて高いと国からも評価されています。 市が推進する合併処理浄化槽は、個別に最短で整備でき、効率的な汚水処理を早期に実現できています。なお、市では初期の設置補助金や、維持管理費用の補助制度を通じて、個人の経済的負担を軽減する対策を行っています。
67	詫間	三豊市はごみの分別等において市民に大きな負担、貴重な労力、時間を強いている。通常の焼却炉方式に転換を求める。	三豊市のごみは、法律等に基づいて分別されリサイクルされています。 リサイクルすることにより、使い終わったものをもう一度新しく生まれ変わらせるため、地球の資源の消費を抑えることが出来ますし、原材料から新しい製品を作るよりも、リサイクル資材から製品を作る方が、製造時のエネルギー消費が少なく、CO2排出量を大幅に削減できます。 また、燃やせるごみの処理方法ですが、従来の焼却炉では、プラスチック類や水分を含んだ生ごみをまとめて高温で燃焼させるため、多くのCO2が発生していましたが、好気性発酵乾燥方式(トンネルコンポスト方式)では、微生物(好気性菌)がごみを分解する際に出す「発酵熱」を利用してごみを乾燥させるので、大幅なCO2(二酸化炭素)排出削減効果があります。さらに、乾燥したごみからプラスチックや紙くずなどをきれいに選別し固めることで、出来た固形燃料を石炭代わりに使うことで、化石燃料の消費も抑えられます。 地球温暖化の原因である温室効果ガス削減のための重要な取り組みの一つと考えていますので、ご協力をお願いします。
68	詫間	リフォーム補助金は市内事業者への発注を条件にしているが、市内業者の保護政策になり愚策である。発注先を自由にすることを求める。	空家バンクリフォーム補助金は、市の財源を活用し地域経済の活性化を図る観点から、市内事業者への発注を要件としています。これは特定業者の保護ではなく、地域産業の維持・育成を目的とするものです。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
69	詫間	三豊市の政治政策は常に市民に負担を求めるものばかりで市長、市議、職員は全く身を切っていない。「市民ファースト」の政治を求める。	地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることが基本であり、そのための「市民ファースト」施策を進めていかなければなりません。職員数の管理やコスト削減により、限られた財源を市民サービスに充てていけるよう、これまで以上に「市民ファースト」で、市民の皆様の幸福度の向上を目指して取り組みを進めてまいります。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
70	詫間	人権侵害を受けた際に人権課へ行くと、道徳や一般常識の話としては聞いてくれるが、結局、裁判所や法務局の相談窓口を案内された。完全に法律違反ではないことで相談に行っているのに、市でうやむやにされる。そういうグレーの部分を解決してくれるのが人権課で、もっと親身になって対応してほしい。 自治会の承認を総務課が行っている。自治会の中で役員からの人権侵害のような問題があり、総務課に相談しても同じ。書類を出させて認めているのが総務課なので、自治会にもっと踏み込んで対応してほしい。 (ほかの参加者より、認可地縁団体の認可については総務課が事務を行っているが、指導監督するものではない、との意見あり)	人権課では、人権相談に訪れた相談者に対し、できるだけ親身になり寄り添った対応を心掛けています。取り扱う内容が人権問題ということもあり、解決に向けては困難な場合も多くありますが、相談者の希望を聞きながら、適切な窓口への案内などもしています。 認可地縁団体の認可事務につきましては、地方自治法に基づき、団体が法令で定められた要件を満たしているかを確認するものであり、自治会内の個別の問題について、市が直接介入することはできませんのでご理解ください。
71	詫間	東大の松尾教授との研究など、目立つ政策が多いが、我々住民としては、それが我々のためになって、子供たちの教育に本当に役立つのかと感じる。地に足の着いた政策、人権の問題など対応していただきたいので、議会としてチェックしてほしい。	人口減少や人口構成の変化による担い手不足が課題となる中、AIをバックヤードで有効活用し、職員が本来すべき市民と対話できる環境を整え、市民の皆さんの満足度を向上できる行政となれるよう取り組みを進めています。また市内企業の労働力不足にも対応できるものと考えます。
72	詫間	主要施策の説明の際、説明文の中では分けていただいているが、投影された資料は総額なのでわかりにくかった。 議会の一般質問などの際、議員の質問はよくわかるが、市側の回答の中で「努力する、進める、理解を求める」という答えばかりでわかりにくい。もう少し努力しているという内容を書いていないと理解しにくい。	いただいた提言は貴重なご意見として承り、説明資料の充実も含め、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
73	詫間	予算の関係で施設の管理が複数の課にわかれているのは理解できるが、施設の利用について縦割りの考えではなくてコンシェルジュ的なことを考えていただきたい。(要望)	施設の利用については、利用者の視点にたち検討してまいります。
74	詫間	ホームページの中に市長に対する意見の受付窓口がない。匿名でも出せるような窓口を作してほしい。	市ホームページ下部の「ご意見・お問い合わせ」にある専用メールフォームでご意見を受け付けしています。なお、匿名も可能です。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
75	詫間	議員から直接話を聞けたり意見を伝えられる貴重な場だと思うので、もっとたくさんの市民が参加できるよう工夫してほしい。	より多くの方にご参加いただけるよう、開催曜日や時間帯、オンライン開催等も含め、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
76	詫間	開催しやすい曜日・時間帯の質問があるが、市民全体に対しては参加できる条件が厳しいと思える。	いただいた提言は貴重なご意見として承り、議会報告会のあり方について議会の中で検討してまいります。
77	高瀬	三豊市からはなぜ若者や女性を中心に人口が流出するのか。	若年層や女性の流出は全国の地方自治体が共通して直面している問題だと考えます。要因としては、進学・就職時の多様な選択肢が都市部に集中していることやライフスタイルの多様化など社会全体の構造や経済の流れが東京圏をはじめとする都市部への一極集中を招いているところです。市としては、若者が地域で活躍できるよう環境整備を進めることを重要な使命と捉え、子どもの頃から「住み続けたいまち」だと実感できるよう、「地域のお仕事図鑑」の作成などの取り組みを進めると同時に、「三豊市に愛着を持つ人、関わる人(関係人口)」を増やし、つながり続ける仕組みづくりを進めてまいります。
78	高瀬	議会報告会や審議会などに参加する人はほとんど老人ばかりと聞いている。そのような環境では若者や女性はそもそも参加しにくく、意見を言える環境とは言い難いと思う。若者や女性限定の市議会報告会や市政に参加する機会を設けていただきたい。	議会としても、若者や女性の参加者が少ないことは憂慮しており、曜日や時間帯を変えたり、オンライン報告会を実施したり、対策は講じているところであります。いただいた提言も含めて、議会の中で検討してまいります。
79	高瀬	公共施設の無人化が進んでいるが、地域住民や自治会役員などの有償ボランティアを活用し費用を抑えながら、市民サービスの集約的提供拠点として生まれ変わる道はないのか。行政に働きかけるべきではなか。	いただいた提言は貴重なご意見として承り、議会としても調査、研究を行ってまいります。
80	高瀬	令和8年度当初予算は骨格予算のため、補正予算で新しい事業を検討とのことだが、補正予算はいつから審議予定なのか。	6月8日から始まる6月議会において補正予算が上程されると聞いている。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
81	高瀬	小学校の統廃合に税金を使わず、給食費の無償化や子育て支援など、子どもの減少を食い止める政策に使うべきでないか。 高瀬町や三野町の小学校の統廃合は見直すべきでは。	平成23年に策定した学校再編整備基本方針から10年が経過し、市内の児童生徒数の減少が進んでいます。こうした子どもたちを取り巻く環境や社会情勢の変化を踏まえ、令和3年度に三豊市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、検討を行いました。その結果、令和6年4月に基本方針の改訂版を策定しました。 改訂版では、高瀬町と三野町の小学校の統合については、第2期(令和16年度～令和25年度)に実施することとしています。なお、児童生徒数の将来推計などについては、今後も適宜見直しを行い、必要に応じて再検討することとしています。
82	高瀬	小学校の統廃合は地域コミュニティの衰退につながりかねない。自然災害への対応には地域防災が大切であるので、働きかけが必要ではないか。	災害時には、地域住民が互いに助け合う「共助」の重要性が一層高まっているので、引き続き、自主防災組織の結成や活動の活性化を図っていきます。
83	高瀬	地域の里山や里海など、自然環境の保全は地域の若い世代がいなければできないのではないか。	地域の自然環境の保全において、若い世代の存在は不可欠であり、高齢化が進む中での活動継続と未来への継承を考えると、彼らの積極的な関わりが特に求められています。 現在、本市では、未来の担い手である若い世代の環境意識を高めるため、小学校や企業と連携した植林活動を実施しています。また、未就学児向け環境講座や小学校への出前授業、親子環境学習などを通じ、幼い頃から環境への関心と愛着を育む機会も提供しております。 これらの取り組みにより、将来、自然環境の保全に携わる人材を育成するとともに、この活動の輪を地域全体に広げることで、持続可能な自然環境の保全を実現していきます。
84	高瀬	豊中町で地域の防災訓練ができる場所を設置してほしい	緊急避難場所及び避難所の指定をしている施設は、施設管理者の同意を得て、自主防災組織等が実施する避難所開設訓練などの地域防災訓練で使用できます。
85	高瀬	閉校した豊中町の小学校に設置していたAEDを公民館の分館に設置してほしい	閉校した豊中5地区小学校の備品等については、現在(6月以降)、必要なものについて市内小学校への配分しています。 また、公民館分館へのAED設置については、所管課である生涯学習課において全体的に判断し、必要に応じて設置を検討することとしています。
86	高瀬	小学校の統廃合を行わない選択肢はないのか。議会として意見を持って執行部に提案してほしい	将来を担う子どもたちの教育環境を第一義に考え、「学校再編整備基本方針改訂版」を令和6年4月に策定しています。 市教育委員会としては、色々な個性に出会い、多様な考え方に触れ、豊かな集団性・社会性を育み、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばすことができる環境が望ましいと考えています。 このため、小規模校については、適正規模校となるよう統合を進めることとしています。

No.	会場	意見・質問・要望	調査結果
87	高瀬	体育館の空調設備について、国から期限付きで交付金をうけて、順次設置しており、統廃合を行う学校から設置していると聞く。平等に設置していくべきではないか。	令和7年度に、部活動等での利用も踏まえ、市内中学校の体育館へ空調設備を導入しました。国の補助要件では、空調設備の導入にあたり断熱性の確保が求められていることから、断熱性が確保されている豊中小学校については、建設と同時に導入しています。また、令和8年度には山本小学校および財田小学校の体育館への導入を予定しています。今後は、児童数や団体利用数などを踏まえ、小学校体育館への空調設備の導入について、早期に検討していきます。
88	高瀬	詫間町のドラッグストア近くの空き地に子供の遊び場ができると聞いたことがある。どのような計画になっているのか。	造船所跡地は昨年度に整備工事を完了する予定でありましたが、様々な問題が発生し中断しています。今後については未定でありますので、決定次第お知らせいたします。
89	高瀬	豊中小学校の建設に当たって、国税や地方税を含めて、どれくらいの金額がかかっているのか	主要成果報告では、令和5年度の決算額は374,175,711円、特定財源は356,743,718円でした。令和6年度の決算額は552,988,125円、特定財源は521,699,000円でした。なお、決算額には遡次繰越・繰越明許費を含んでいます。また、特定財源には国庫補助金、起債、基金繰入金を含んでいます。令和7年度の決算額については、9月開催の決算特別委員会で報告する予定です。